

# Panasonic®

## 取扱説明書

工事説明付き

センターマイクロホン

品番 WX-CM200



### 保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5~6ページ) を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

# はじめに

## 商品概要

本機は、1.9 GHz帯デジタルワイヤレスインターラムシステムに使用するセンターマイクロホンです。センターユニット(WX-CX200:別売品)と接続して、ポータブルトランシーバー(WX-CT200:別売品)との双方向通話ができます。

- 本機とセンターユニットは、カテゴリー5(またはカテゴリー5e、カテゴリー6)ストレートケーブル1本で接続できます。
- 本機のボリュームでマイクと外部スピーカー(市販品)の音量を調節できます。
- マイクはフレキシブルシャフトを使用し、本体の角度は-5°から15°まで5段階に切り替えができます。
- 卓上用として使用できます。

## 付属品をご確認ください

取扱説明書(本書) .....	1冊
保証書 .....	1式
ウインドスクリーン .....	1個(本体取付済み)

## 免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本商品の破損など不便・損害・被害
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
- ④本商品の故障・不具合および設定・設置の誤りを含む何らかの理由または原因により、通話できないことで被る不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器から発せられる電波により、本商品が使用できないまたは使用できないことによる不便・損害・被害

## 著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

## 略称について

本機では以下の略称を使用しています。

- センターマイクロホン (WX-CM200) を本機と表記しています。
- センターユニット (WX-CX200: 別売品) をセンターユニットと表記しています。
- ポータブルトランシーバー (WX-CT200: 別売品) をポータブルトランシーバーと表記しています。
- 接話マイクロホン (WX-CM210: 別売品) を接話マイクロホンと表記しています。

本文中に記載されている別売品などの情報は、2017年9月現在のものです。最新の情報は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



: 該当する機能を使用するにあたり、  
制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

# もくじ

はじめに

設置・設定

基本操作

その他

## はじめに

はじめに	2
商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
著作権について	2
略称について	3
記号について	3
安全上のご注意	5
使用上のお願い	7
各部の名前とはたらき	8

## 設置・設定

設置のしかた	11
設置上のお願い	11
センターユニットとの接続	12
外部スピーカーとの接続	13
角度調整	13

## 基本操作

通話する	14
グループ通話をする	14
一斉通話をする	16
個別通話をする	17
通話状態を解除する	18

## その他

故障かな!?	19
仕様	21
保証とアフターサービス	22

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

## !**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

## !**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## !**警告**



### 異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。



### 不安定な場所に置かない

落下や転倒によるけがや事故の原因となります。

禁止

### 機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない

水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。

●直ちに販売店に連絡してください。

### 異物を入れない

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

### 雷のときは工事、配線をしない

火災や感電の原因となります。



### 水をかけたり、ぬらしたりしない

火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止 ●直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。



### 分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

分解禁止

## ⚠ 注意



### 工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。  
●必ず販売店に依頼してください。

### お手入れのときは電源を切る

けがの原因となります。



### 電源を入れたまま工事、配線をしない

けがの原因となります。

禁止

### 湿気やほこりの多い場所に設置しない

けがの原因となります。

# 使用上のお願い

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

## 本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

- 丁寧に取り扱ってください。本機は不適切な取り扱いや保管によって損傷する部品が含まれています。

## 使用温度は

- 0 ℃～40 ℃です。この範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

## 電源について

- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときはセンターユニットの電源スイッチを切るかセンターユニットのACアダプターの電源コードを外してください。

## 本機を移動する場合は

- フレキシブルマイク部を持って移動しないでください。故障の原因となります。

## お手入れについて

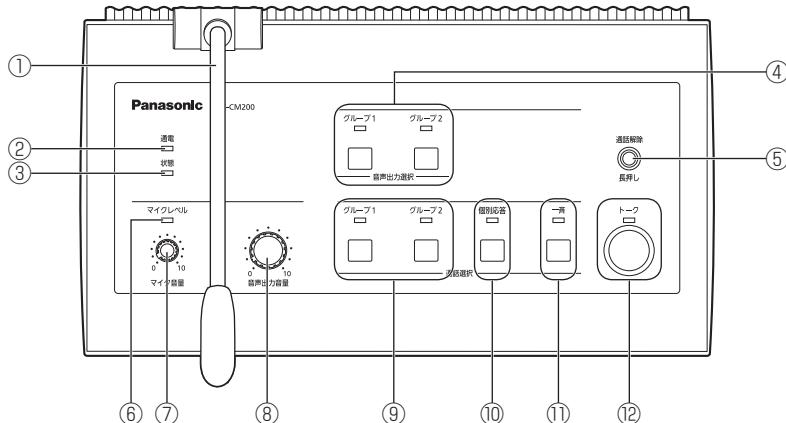
- 電源を切り乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

## 長期間使用しない場合は

- 使用しない場合は放置せず、必ず販売店に依頼して撤去してください。

# 各部の名前とはたらき

## ■ 操作部



### ①フレキシブルマイク（ウインドスクリーンつき）

マイクの向きを自由に変えることができます。

### ②通電表示灯【通電】（緑色）

本機に電源が供給されているとき点灯します。

### ③状態表示灯【状態】

本機の状態を表示します。

点灯（緑色）：センターユニットと正常通信

点灯（赤色）：センターユニットとの通信異常

消灯：電源投入後、センターユニットとの通信なし

### ④音声出力選択ボタン／表示灯【グループ1】【グループ2】

外部スピーカーに出力するグループを選択します。

点灯：出力選択中

消灯：出力未選択、かつ通話（受話）なし

点滅：出力未選択、かつ通話（受話）あり

### ⑤通話解除ボタン【通話解除】

すべてのポータブルトランシーバーの通話（送話）を強制的に解除します。

### ⑥マイクレベル表示灯【マイクレベル】

フレキシブルマイクからの入力音量のレベルを表示します。

点灯（緑色）：レベル適正

点灯（赤色）：レベル過多

時々「赤」が点灯する程度に【マイク音量】調節つまみで調節してください。

**⑦マイク音量調節つまみ【マイク音量】**

フレキシブルマイクの入力音量を調節します。

**⑧音声出力音量調節つまみ【音声出力音量】**

外部スピーカーに出力する音量を調節します。

**⑨通話グループ選択ボタン／表示灯【グループ1】【グループ2】**

通話するポータブルトランシーバーのグループを選択します。

点灯（緑色）：グループ選択中

**⑩個別通話ボタン／表示灯【個別応答】**

ポータブルトランシーバーと個別通話（一対一の双方向通話）します。

点灯（緑色）：個別通話選択中

点滅（緑色）：ポータブルトランシーバーからの個別通話呼び出し中

**⑪一斉通話ボタン／表示灯【一斉】**

ポータブルトランシーバーすべてを選択します。

点灯（緑色）：一斉選択中

**⑫トークボタン／表示灯【トーク】**

選択した通話先と通話できます。本ボタンを押すと通話が開始／終了されます。本ボタンを一度押すと通話可能となり、もう一度押すと通話を終了します。

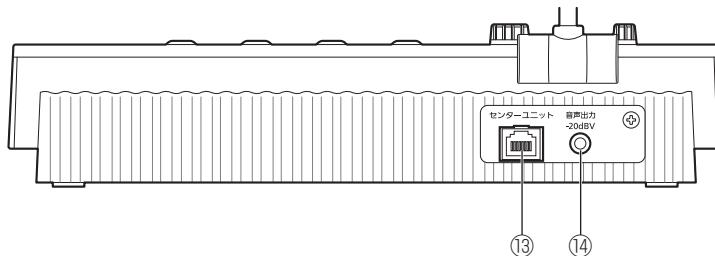
点灯（緑色）：通話（送話）中



- ポータブルトランシーバーのグループの設定には、運用支援ソフトが必要です。運用支援ソフトの入手は販売店にお問い合わせください。

# 各部の名前とはたらき

## ■ 後面



### ⑬ センターユニット接続端子 [センター・ユニット]

センター・ユニットとの接続端子です。カテゴリー5（またはカテゴリー5e、カテゴリー6）ストレートケーブル（市販品）で接続します。

### ⑭ 音声出力端子 [音声出力] (φ3.5 単式プラグ)

アンプ内蔵型スピーカーを接続します。

# 設置のしかた

## ■ 設置上のお願い



- 工事は必ず販売店に依頼してください。
- 工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。
- 「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。  
接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

### 本機は屋内専用です

- 屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

### 以下の場所には設置しないでください

- 直射日光のある場所や温風吹き出し口の近く
- 湿気やほこり、振動の多い場所
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 傾斜のある場所
- 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しないでください。機器の誤動作の原因になります。
- トランス、調光器、映像機器、CRTモニターなどから、できるだけ離してください。  
ノイズを受けるおそれがあります。

### 電源について

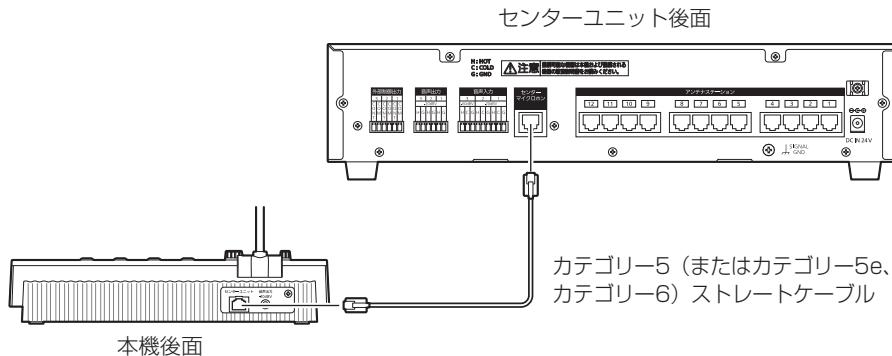
- 本機には電源スイッチがありません。本機を電源から遮断するときはセンターユニットの電源スイッチを切るかセンターユニットのACアダプターの電源コードを外してください。

## 設置のしかた

## ■ センターユニットとの接続

センター ユニットと接続することにより、本機に電源が供給されます。

本機の「センターユニット接続端子」とセンターユニットの「センターマイクロホン接続端子」間をカテゴリー5（またはカテゴリー5e、カテゴリー6）ストレートケーブル（市販品）で接続する



- センターユニット接続端子の仕様は本機専用となっています。本機をPoE給電装置（給電機能付きハブもしくはルーター）には接続しないでください。故障の原因となります。



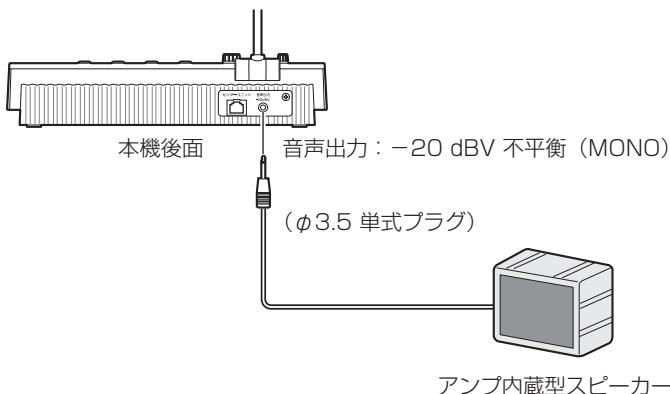
- カテゴリー5（またはカテゴリー5e、カテゴリー6）ストレートケーブル（市販品）は50 m 以内のものを使用してください。

## ■ 外部スピーカーとの接続



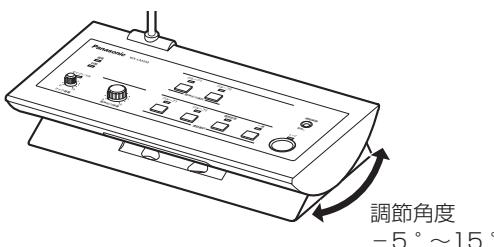
- 本機には内蔵スピーカーはありません。ポータブルトランシーバー（WX-CT200:別売品）からの音声を聞く、もしくはポータブルトランシーバーと通話する場合、あらかじめアンプ内蔵型スピーカーを接続する必要があります。
- 本機の「音声出力端子」はラインレベルでの出力のため、アンプ内蔵型スピーカーを接続してください。
- 外部スピーカーに出力される音量は【音声出力音量】つまみで調節することができます。適切な音量に調節してください。

本機の「音声出力端子」にアンプ内蔵型スピーカー（市販品）を接続する



## ■ 角度調整

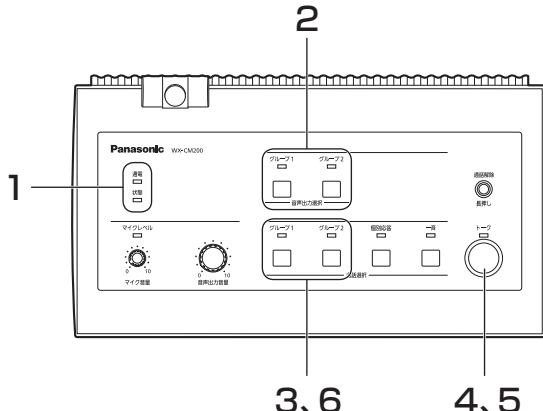
本機を卓上に置いて使用する場合は、使いやすい角度に調節してご使用ください。



# 通話する

## ■ グループ通話をする

グループ（1、2）を指定して、グループ通話をすることができます。指定したグループ内のすべてのポータブルトランシーバーと通話することができます。



### 1 【通電】表示灯、【状態】表示灯が緑点灯していることを確認する

すでにポータブルトランシーバーからグループ通話が開始されている場合、該当グループの【音声出力】表示灯が緑点滅します。

### 2 音声出力選択ボタンを押す

選択したグループの通話内容が、外部スピーカーから出力されます。



- 本機には内蔵スピーカーはありませんので、ポータブルトランシーバーからの音声を聞く、もしくはポータブルトランシーバーと通話する場合、あらかじめアンプ内蔵型スピーカーを接続しておく必要があります。
- ポータブルトランシーバーからの一斉呼出の音声は【グループ1】ボタン（【グループ2】ボタン）の選択有無にかかわらず外部スピーカーに出力されます。
- 外部スピーカーに出力される音量は【音声出力音量】つまみで調節することができます。適切な音量に調節してください。

### 3 通話グループ選択ボタンを押して、通話先を選択する

選択されたグループの表示灯が点灯します。

### 4 [トーク] ボタンを押して、「ピピッ」と鳴ったらフレキシブルマイクに向かって話す

通話中は [トーク] 表示灯が緑色点灯になります。



- フレキシブルマイクの音量は、本機前面にある [マイク音量] つまみで調節してください。

### 5 再度 [トーク] ボタンを押して、通話を終了する

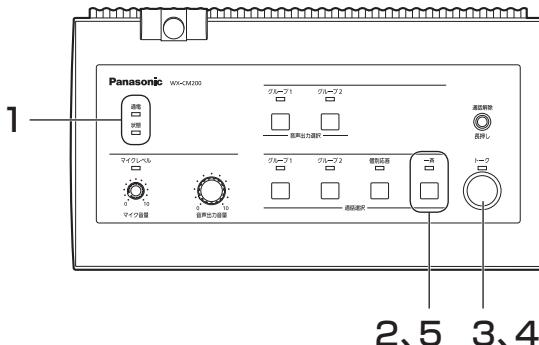
[トーク] 表示灯が消灯します。

### 6 再度 [グループ] ボタンを押して、グループの指定を解除する

[グループ] 表示灯が消灯します。

## ■ 一斉通話をする

本機から接続されているすべてのポータブルトランシーバー (WX-CT200: 別売品) と通話することができます。



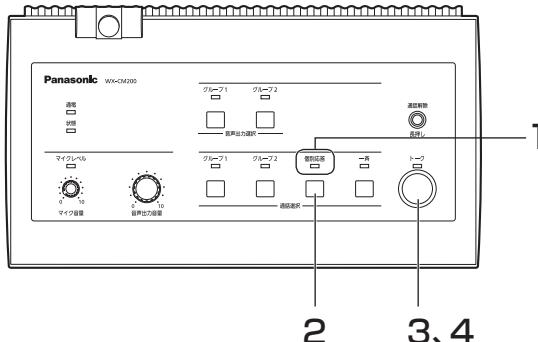
- 1 [通電] 表示灯、[状態] 表示灯が緑点灯していることを確認する
- 2 [一斉] ボタンを押す  
[一斉] 表示灯が点灯し、一斉が指定されます。
- 3 [トーカー] ボタンを押して、「ピピッ」と鳴ったらフレキシブルマイクに向かって話す  
通話中は [トーカー] 表示灯が緑色点灯になります。
- 4 再度 [トーカー] ボタンを押して、通話を終了する  
[トーカー] 表示灯が消灯します。
- 5 再度 [一斉] ボタンを押して、一斉指定を解除する  
[一斉] 表示灯が消灯します。



- 本機には内蔵スピーカーはありませんので、ポータブルトランシーバーからの音声を聞く、もしくはポータブルトランシーバーと通話する場合、あらかじめアンプ内蔵型スピーカーを接続しておく必要があります。
- ポータブルトランシーバーからの一斉呼出の音声は [グループ1] ボタン ([グループ2] ボタン) の選択有無にかかわらず外部スピーカーに出力されます。
- 外部スピーカーに出力される音量は [音声出力音量] つまみで調節することができます。適切な音量に調節してください。

## ■ 個別通話をする

ポータブルトランシーバーと個別通話（一対一の双方向通話）することができます。



### 1 個別呼び出しを確認する

ポータブルトランシーバー側で個別通話の操作を行うと【個別応答】表示灯が緑色に点滅し、ポータブルトランシーバーからの音声が外部スピーカーに出力されます。  
(ポータブルトランシーバーでの操作方法はポータブルトランシーバーの取扱説明書をお読みください。)

### 2 【個別応答】表示灯が点滅中に、【個別応答】ボタンを押す

【個別応答】表示灯が点灯に変わります。

### 3 【トーカー】ボタンを押して、「ピピッ」と鳴ったらフレキシブルマイクに向かって話す

通話中は【トーカー】表示灯が緑色点灯になります。

### 4 再度【トーカー】ボタンを押して、通話を終了する

【トーカー】表示灯が消灯します。



- 個別通話相手のポータブルトランシーバーが通話状態（トーカー状態）を中止すると、本機の【個別応答】表示灯が消灯し、個別通話は終了します。
- 個別通話中は、個別通話の音声を聞き取りやすくするために、外部スピーカーに出力される一斉通話とグループ通話の音声は少し小さくなります。

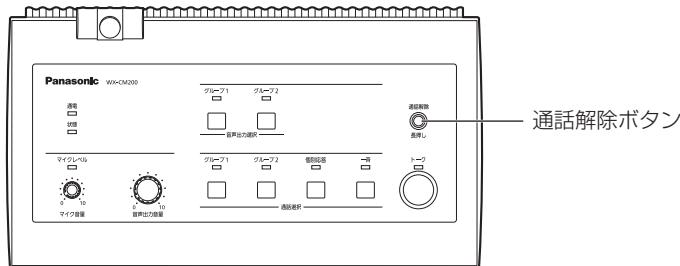
# 通話状態を解除する

ポータブルトランシーバーの通話状態を強制的に解除します。

次のような場合にご使用ください。

- ポータブルトランシーバーが通話状態のまま、通話を解除しなかったとき。  
例えば、接話マイクロфонを接続している場合、ポータブルトランシーバー本体のトーケボタンを一度押すと通話状態になり、もう一度押すと通話状態が解除されます。誤つて通話解除をしなかった場合は電池がなくなるまで通話状態が続けられる可能性があります。

## 1 [通話解除] ボタンを2秒程度押す



外部スピーカーから「ピピッ」音が聞こえたら、すべてのポータブルトランシーバーの通話状態が解除されます。



- 本機からの一斉通話とグループ通話は、通話解除対象外です。本機からの通話を解除するには、本機の [トーカ] ボタンを押して通話を終了してください。

# 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの対策をしても直らないときやわからないとき、この表以外の現象が起きたときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本機とセンターユニットが接続されていますか? ➡ 本機とセンターユニットとの接続を確認してください。</li></ul>	12
	<ul style="list-style-type: none"><li>● センターユニットの電源スイッチが「スタンバイ」になっていませんか? ➡ センターユニットの電源スイッチを「入」にしてください。</li></ul>	センター ユニット 取扱説明書
センターマイクロホンの音声がポータブルトランシーバーで聞こえない	<ul style="list-style-type: none"><li>● マイク音量が小さくなっていますか? ➡ [マイク音量] つまみで音量を上げてください。</li></ul>	8、9
	<ul style="list-style-type: none"><li>● 通話先の選択は正しいですか、また [トーク] 表示灯が点灯していますか? ➡ 通話グループ選択ボタンで通話先を選択し、[トーク] ボタンを押してください。</li></ul>	8、9

その他

# 故障かな!?

現象	原因・対策	参照ページ
本機に接続された外部スピーカーからポータブルトランシーバーの音声が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音声出力を選択していますか? ➡ 音声出力選択ボタンで外部スピーカーに出力するグループを選択してください。</li> </ul>	8
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機と外部スピーカーは接続されていますか? ➡ 本機と外部スピーカーとの接続を確認してください。</li> </ul>	13
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部スピーカー音量が小さくなっていますか? ➡ [音声出力音量] つまみで音量を上げてください。</li> </ul>	8, 9
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の [音声出力音量] つまみを小さくしていませんか? ➡ [音声出力音量] つまみで適切な音量に調節してください。</li> </ul>	8, 9
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部スピーカー（アンプ内蔵スピーカー）のボリュームを小さくしていませんか? ➡ 外部スピーカーのボリュームで適切な音量に調節してください。</li> </ul>	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンプを内蔵していないスピーカーを接続していませんか? ➡ アンプ内蔵型スピーカーを接続してください。</li> </ul>	13
本機の [状態] 表示灯が赤点灯している	<ul style="list-style-type: none"> <li>● センターユニットに障害が発生しています。 ➡ お買い上げの販売店にご相談ください。</li> </ul>	8

# 仕様

電源	DC24 V (センターユニットから給電)
センターユニット接続	
コネクター	RJ-45コネクター
配線ケーブル	カテゴリー5 (またはカテゴリー5e、カテゴリー6) ストレートケーブル
配線距離	50 m
マイク	ECM内蔵350 mmフレキシブルマイクロホン
音声出力	−20 dBV 不平衡 (10 kΩ) φ3.5 mmミニジャック
角度調節	−5 ° ~ 15 ° / 5 ° ステップ
動作温度	0 °C ~ 40 °C
外形寸法	約280 mm (幅) × 56.8 mm (高さ) × 150 mm (奥行き)
質量	約690 g
仕上げ	AVライトグレー樹脂色 グレー樹脂色 ポリカーボネイトシート

# 保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

## ■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 ( ) -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは  
「故障かな!?」（19～20ページ）でご確認のあと、カテゴリー5（またはカテゴリー5e、カテゴリー6）ストレートケーブルを抜き、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 センターマイクロホン

●品 番 WX-CM200

●故障の状況 できるだけ具体的に

## ●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、以下の部品については消耗品ですので、保証期間内であっても「有料」とさせていただきます。

- ・ウインドスクリーン

## ●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。



取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

- 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。
- その他ご不明な点は下記へご相談ください。

#### システムお客様ご相談センター

電話 フリー ダイヤル  パナハヨイワ 0120-878-410 受付：9時～17時30分  
(土・日・祝日は受付のみ)  
※携帯電話からもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは

[https://connect.panasonic.com/jp-ja/support\\_cs-contact](https://connect.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact)

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

**パナソニック コネクト株式会社**

**パナソニック**

**エンターテインメント & コミュニケーション株式会社**

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号